

農林大学校だより

sinrei 榛 黎

第74号

令和4年3月17日
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968
<http://www.gunma-iaf.ac.jp>

新しい生活様式で
がんばった2年間!



2年ぶりに開催できた榛の木祭
(令和3年11月13日)

武器はDX。
ハートは…

校長
藤井 俊弘



2年生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、社会人コースの皆さん、農業実践学校専門技術課程の皆さんは1年間お疲れ様でした。そしておめでとうございます。巣立っていく皆さんに校長からエールを送りたいと思います。

農林業分野でDX(デジタルトランスフォーメーション)化が進んでいます。本校でもGPS付トラクターやリモコン草刈り機といった新たな機材が導入され、またドローン利用や高性能林業機械の講習会なども取り入れ、これからの農林業を発展させていく技術を学ぶ環境を整えつつあります。それらに加えて、コロナ禍の厳しい環境下で、教育現場ではリモート講義が「憎きウイルス」に対抗する手段の一つとして、重要な役割を果たしています。残念ながら本校ではこの部分の環境整備が進んでおりませんでしたが、来年度の予算措置によってこの部分も何とか解決の方向に向かっています(これは卒業する皆さんには残念ながら間に合わなかった部分ですね)。

これからの農林業を担っていく皆さんには、こういったデジタルの知識や技術を蓄え、それを駆使して新たな群馬県の農林業を切り開いていくことが求められています。ただ、その技術を扱う皆さんには、もっと重要なことがあります。その技術を利用するのは私たち人間であり、私たちにはそれぞれ夢や希望や未来があります。私たちの明日は、デジタル技術の活用により、より便利で快適なものになっていくはずですが、しかしながら、本当の幸せは人と人の心がつながり、わかりあえる環境が実現することです。そのためにはDXの使い手たる皆さんが、「人の気持ちわかる」大人にならなければなりません。最先端技術を使いこなすのは私たち人間です。人の気持ちがわかる技術者を目指して、これからも学び続けてください。この農林大学校で出会った仲間・先生は一生の宝物です。皆さんの将来に期待しています。

一度の人生！ 夢の実現を!!

後援会 会長
新野見 貴史



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。農林大での学校生活はいかがだったでしょうか？思い返せば、新型コロナウイルスの感染拡大の為、二度の入学式延期の末、6月にやっと待ちに待った入学式を迎えたことを今でも昨日のように覚えています。これから始まる寮生活にほとんどの人が不安でいっぱいだったことでしょう。しかし、日々の時間を共に過ごしているうちにすぐに不安な気持ちはなくなり、寮生活、そして学校生活がとても有意義なものになったと思います。おそらく皆さんの農林大での1番の思い出は寮生活そのものだと思います。一人一人が違う個性や感性を持っていると時にはぶつかり合ったこともあったと思いますが、お互いを認め合うことの大切さを知り尊重し合える「友」になれたことでしょう。コロナの影響で1年次には全く行えなかった三行事の校内球技大会、榛名登山、そして榛の木祭なども2年次には全て行うことができました。皆さんの胸には一つ一つの思い出がしっかり、そして深く刻まれたことでしょう。

これから卒業生の皆さんは社会人として、一人の大人として生きていかなくてはならないわけですが、農林大の卒業生として農業人らしく大木のように太い根をしっかりと張り、どんな予期せぬ困難にも負けぬよう歩み続けてもらいたいと思います。そして、ぜひ、自分なりの夢を見つけ、その夢を実現させるべき努力をしてください。農林大を卒業する皆さんなら想いを強く持ち続けていれば、その夢は必ずや実現できることでしょう。さあ、皆さんの人生はまだスタート地点！一度の人生全力で謳歌してください！最後になりますが、農林大学校の教職員および関係者の方々の2年間に及ぶ熱心なご指導に感謝致しますとともに、農林大学校の益々の繁栄、そして皆様様の御多幸を祈念致しまして、卒業生保護者を代表し挨拶とさせていただきます。

卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

保護者からの一言



未来に進め

新保 明美

入学式が延期になり、あたふたしたスタート。コロナ禍での制限のある2年間は、あっという間でしたね。親としては普通の時代の学生生活を送らせてあげたかったと思ってしまいます。この2年間はどうか？ちゃんと楽しめましたか？心配に思っていましたが、榛の木祭で見た皆さんの笑顔に心が救われた気がしました。

まだまだ不安定な時代です。でも皆さんは、この不自由な2年間だったからこそ、社会に出るためのスキルが上がったと信じています。農林大で学んだ知識、培った技術、友達と育んだ「つながり」を武器にして農業の未来へと羽ばたいてください。皆さんの活躍を願っています。

2年間、温かく見守ってくださった先生方や関係者の皆様には、大変感謝しております。本当にありがとうございました。



卒業おめでとう

原田 一男

入寮から始まった農林大学校生活、皆さんはどうでしたか。親元を離れ、新しい仲間との共同生活では色々な発見があったと思います。我が家では2年前に兄が卒業していて、その時行われていた学校行事と比べると、皆さんが在籍していた2年間は新型コロナの影響により当たり前でできていた学校行事ができず、制約を受けた2年間でしたね。それでも先生方のご指導のもと、専門的な知識を十分に取得できたのではないのでしょうか。仲間との協力、助け合い、子供が話す学校生活は十分に楽しく、充実した生活を送れたと感じました。

皆さんはこれから色々な経験をするとします。皆さんが成長した姿を今まで見守り続けてくれた方々に見せるのが最大の恩返しになると思います。農林大卒業生として輝かしい未来に羽ばたいてください。

2年間ご指導頂きました先生方には本当に心より感謝申し上げます。

学校生活の思い出

野菜コース2年
湯浅 克月

私はこの2年間で、多くの事を学び、様々な思い出を作ることができました。そんな中でも一番の思い出は多くの友達に出会えたことです。

入学当時は初めて会う人ばかりで、寮での生活も不安でいっぱいでした。そんな時に、同じコースの友達や、寮の部屋の友達が気軽に話をしてくれて、不安だった気持ちを吹き飛ばしてくれました。学校生活や実習では、毎日くだらない話をしたり、仲間とはしゃぎながらも助け合い、熱心に取り組んできました。

この文章を書きながら、2年間という短い間に、多くの仲間や先生に支えられてきたのだと改めて感じ、懐かしい思い出や楽しかったことがよみがえり、胸がいっぱいになりました。卒業後は一人一人違った人生を歩むことになり、大変な事もあると思います。そんな時はこの場所で出会い、巡り合ったことを思い出してみてください。2年間、ありがとうございました！

花き・果樹コース2年
池田 陸

私は、農林大学校で果樹を学びました。栽培管理では、大変な作業もありましたが、1年かけて栽培した果物を食べた時には、とても美味しく感じました。販売では、接客、会計を担当し、お客様を待たせないように素早く、的確に対応することを学びました。農産物、加工品を完成させた時、お客様に「美味しかったよ」と評価をいただいた時には、達成感を味わいました。また、寮生活では部屋の仲間と衣食住を共にし、たわいのない話をしたり、買物や遊びに出かけて、笑いの絶えない毎日を過ごしました。新型コロナウイルスのまん延によって、2カ月遅れの入校、様々の行事が中止や延期になるなどの変則的な生活が続きましたが、とても充実した日々を過ごせました。農林大学校に進学して良かったと心から思います。農林大学校で培った経験や実習で学んだことを生かし、就農先で頑張っていきたいと思っています。



酪農肉牛コース2年
折茂 緋真里

農林大学校酪農肉牛コースに入学して、酪農や畜産に関する知識・技術を専門的に学ぶことができました。高校は普通科であったため、農業の知識がほとんどなく、入学した当初は、授業の内容を理解することができるのか、とても不安でした。

しかし、日々の授業や実習で、先生や先輩方、友人に教えていただけたことで、少しずつ知識・技術を身につけることができました。

学校生活で最も印象的なことは、休日等に学生が1週間交代で行う牛舎での経営当番です。牛の飼養管理は、体力面から大変だったので、体調が悪くならないよう規則正しい生活を心がけていました。普段より、牛と接する時間が長く、友人と協力してやり遂げることができてよかったです。

今後は、さらに知識を深め、畜産分野に貢献していけるよう努力をしていきたいです。



社会人コース
小淵 智也

学びを意識した1年間の中で、榛名登山や榛の木祭などの行事以上に、日々の講義や実習が一番の思い出になりました。

特に校外学習では、農業法人や企業に出向き、見たり聞いたりする機会が多くある中で、想像以上に事業としての農業の大変さを実感しましたが、経営者の農業に対する情熱や思いが感じられ、就農に向けての不安が取り除かれたように思います。

また、普段の実習では、先生方が栽培植物と極めて論理的に向き合っていること、学生同士がそれぞれの思いをもって2年間に有意義に過ごしていることも勉強になりました。これからは、トレンドに流されず、人に納得して買ってもらえるものを作りたいと考えています。1年間でしたが、学習の機会を設けていただきありがとうございました。



農と食のビジネス
コース2年
谷地田 圭佑

私は、農林大学校でとても充実した2年間を過ごすことができました。私たちが入学した年は、新型コロナウイルスの影響で2カ月遅れた入学式となりました。正直、入学する前は心配でしたが、入学すると本当に楽しく、毎日学校に行くのが楽しみになりました。

実習では、楽しいことだけではなく、大変なこともたくさんありましたが、クラスの友人に恵まれたおかげで、大変でも笑いが絶えませんでした。私は、学校の新型コロナ対策として通学を選択し、1年次から寮に入らなかったため、友人と1日中生活することはありませんでしたが、学生ホールなどにみんなで集まり、話をしていたのが一番の思い出です。

私の周りは、個性の強い人たちがたくさんいて、毎日友人などに刺激をもらい、この2年間で様々なことを学びました。たくさんの思い出ができ、農林大学校に入学して良かったと思う2年間を過ごすことができました。



森林コース2年
竹澤 響

少し遅れて始まった学校生活は、緊張でいっぱいでした。初めての寮生活に初めての实習と今までに体験してこなかった出来事の連続で、慣れるまでは神経の細い私には、胃が痛くなる日々でした。しかし、農林大学校での体験は、かけがえのない思い出になりました。

学校生活の一番の思い出となったのは、球技大会や榛名登山などのイベントや課題研究など大掛かりなものではなく、なんともない日々を友人と過ごすただの日常でした。寮で友人とゲームしたり、不満を愚痴ったりする、とりとめもない毎日が好きでした。

振り返ってみれば、長かったような、あっという間だったような2年間は、今の「私」を形成する血肉となった大切な宝物です。これからの人生、農林大学校卒業生として恥じぬよう、頑張っていきたいと思います。素敵な時間と貴重な体験の2年間ありがとうございました。

在校生からのメッセージ



先輩方の教えを引き継ぐ
野菜コース1年 池田 一樹

ご卒業される先輩方、誠におめでとうございます。先輩方には、日頃の実習だけでなく、部活動やイベント、プライベートなど様々な場面でお世話になり、感謝しております。私たちが入学して間もない頃、農林大学校での生活や実習ルール、収穫、調整方法などが全く分かりませんでした。しかし、先輩方は、やさしく丁寧に教えてくださいました。そのおかげで私たちは今、不安を抱えずに先輩方のように笑顔で実習を行うことができます。私たちは先輩方から得た知識や技術を後輩へと引き継いでいきます。

社会人として、不安等があるかと思いますが、先輩方なら必ず高い壁を越えられると信じています。怪我や病気がなく、幸せで楽しい日々を過ごされるとともに、これからの活躍を心よりお祈り申し上げます。



先輩から学んだこと
花き・果樹コース1年 犬木 美咲

2年生の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。先輩方には、実習や行事など様々な場面で大変お世話になりました。入学当初は、初めてのことでばかりで不安に駆られていましたが、先輩方が明るい雰囲気であげてくださったので、すぐに緊張が和らぎました。経営当番では、何も分からない私たちに、花の灌水頻度や栽培方法など丁寧にご指導してくださり、ありがとうございました。先輩方のおかげで、私たち1年生だけでも作業を行えるようになりました。また、代表課題研究発表会では、緊張を一切感じさせない堂々とした発表ぶりで、その姿は凛々しく、私たちの目指す憧れの姿でもあります。1年という短い時間の中でしたが、先輩方から学んだことを胸に後輩にも繋げられるよう、頑張ります。最後になりますが、先輩方のご活躍を心より、お祈り申し上げます。



感謝の気持ちでいっぱい
酪農肉牛コース1年 深澤 拓真

先輩の皆様、ご卒業おめでとうございます。私が初めて専門実習に参加したあの日、高校の時との作業量の違いに大きな衝撃を受けました。同時に一つ一つの作業を把握し、私たちに説明や指示をしている先輩方に強い憧れを覚えていたのを今でも覚えています。夏休みが始まり、1年生のみの経営当番になった時も、トラブル等で辛く大変でしたが「陰ながら応援しているよ。」と言った先輩方の温かい言葉のお陰で失敗等を乗り越えることができました。今もこうして、きちんと作業ができるのは、そんな尊敬する先輩方のご指導の賜物であり、感謝の気持ちで一杯です。これからも、教えていただいたことを忘れず頑張っていきたいと思います。農林大学校を卒業された後の先輩方の人生を私たちは応援しています。1年間本当にありがとうございました。



ご卒業おめでとうございます
農と食のビジネスコース1年 高橋 朝陽

ご卒業される先輩方、誠におめでとうございます。先輩方には、授業や実習、文化祭など、様々な場面でお世話になりました。作物栽培実習では、初めての当番の際に、一から丁寧に教えてくださるなど、実習では関わる機会がとても多かったと思います。先輩方は、いつも楽しそうに実習をされ、雰囲気がよかったため、私たちも入校時は、とても不安で緊張していましたが、すぐに打ち解けることができました。また、分からないことを優しく丁寧に教えてくださるなど、とても親切にいただき、ありがとうございました。これからは、その良い雰囲気と先輩方からいただいた知識を新しい後輩たちにへと伝えていきたいです。

1年間という、短い期間でしたが、大変お世話になりました。先輩方の益々のご健闘、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



先輩方の背中を追って
森林コース1年 長島 大起

2年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。短い期間でしたが、実習では、分からないことや作業のやり方などをたくさん教えていただき、ありがとうございました。刈払機やチェーンソーの操作や目立てなど、まだ理解できてなかった自分たちですが、先輩方の丁寧なご指導のおかげでできるようになり、実習が楽しくなりました。

入学して右も左も分からない自分たちにたくさんのことを教えていただいているうちに、先輩方の背中を追うようになり、自分も後輩ができた先輩方のようになりたいと思いました。これから先、大変なことや悩むこともたくさんあると思いますが、先輩方ならきっと乗り越えることができると信じています。先輩方のこれからのご活躍、ご健闘を心よりお祈り申し上げます。またお会いできる日を楽しみにしています。

農林大の一年

10月



榛名登山
酪農肉牛コース1年 下山 さくら

新型コロナウイルスの影響で2年生の先輩たちも初めての榛名登山でした。榛名登山のゴール地点は榛名湖であり、その走行距離は13km、標高差800mになります。中学、高校時代にスポーツをしてきた私は、体力には自信がありましたが、ゴールまでの道のりは想像以上に壮絶で、5分先にスタートした2年生の後ろ姿について行くのが精一杯でした。林が見えてきてからどんどん山の奥に進んで行くにつれ、自信のあった体力も少しずつ削れていき、走りきるのを何度も諦めかけました。しかし、負けない気持ちと先輩について行く気持ちをしっかり持ち、ゴールまで走りきりました。ゴールでは先輩が待っていてくれて、それまでの疲れた体も先輩の笑顔で消えていきました。来年もこの思い出と一緒に走りきり、たくさんの人と笑い合い、最高の思い出にしたいと思います。

11月



球技大会
野菜コース1年 久保 湧雅

私は小さい頃から体を動かすのが得意で農林大学校での球技大会をととても楽しみにしていました。しかし、コロナ禍でイベントの延期や中止が余儀なくされるなかで、球技大会の開催が先生から伝えられた時は胸いっぱいのワクワク感が止まりませんでした。私の出るキックベースでは、コース内でも専攻が異なる先輩や同級生が9割でした。そのため上手く連携が取れるか、仲良くやっていけるか不安でしたが、いざ試合が始まるとみんな優しく笑顔で接してくれました。結果は準優勝でしたが先輩と怪我なく楽しく笑い合いながら全力を出せた事にとても満足しています。楽しい時間はあっという間に終わってしまいましたが、農林大学校で学べる時間もあっという間だということにも気づき、これからの学校生活も一日一日を大切にしなければならぬと感じました。

12月



イオン販売
農と食のビジネスコース1年 原澤 里音

高崎イオンスタイルでの販売実習は、農と食のビジネスコースが中心となり、取り組んでいます。今年度はコロナ対策を行い、3回開催しました。販売する商品は、私たちが生産しているサツマイモや小麦等を使用し、素材の「旬と味」を生かすこと、無添加にこだわり、一から商品を開発しています。お客様に美味しく安心な商品を届けるため、試行錯誤を重ねた結果、仕上がった商品は好評でした。商品を開発することの楽しさだけでなく、栄養成分表示の計算、接客やレジスターの操作も学べ、とてもよい経験になりました。直接お客様に接する中で、お客様のニーズや商品の課題を知ることができました。来年度の販売会では、今回学んだことを生かし、より良い商品を販売していきたいと思います。

12月



校内販売
花き・果樹コース1年 田口 果奈

12月3日にシクラメンと野菜の即売会が開催されました。強く冷たい風の中でしたが、開始前から、多くのお客様が並んでおり、その多さにとても驚きました。いざ販売が始まると、急いでたくさんの商品を購入される方や、毎年買いに来ていると仰っている方もいて、「農林大は、地域の方に愛されている」と強く感じました。接客や会計などは不慣れで、とても苦労しました。しかし、仲間と協力して大きな失敗もなく、最後まで販売できたのでよかったと思います。また、私たちが丹精込めて育てた花を、お客様が笑顔で購入してくださる姿を見て、うれしさとともに達成感を得ました。短い時間でしたが、多くのお客様と接することができ、とても良い経験になりました。この経験を今後の実習や販売、そして将来に生かせるようにしたいと思います。

12月



代表課題研究発表会
森林コース1年 新井 湧貴

12月16日に、群馬会館において代表課題研究発表会がありました。発表内容は、栽培技術の導入や食品の加工の活用方法、生育不良対策の検証など、難しい課題や県内で問題になっていることについて取り組む先輩もいました。発表は、分かりやすくまとめられており「どの先輩もすごいな」と感動しました。
私は、スギ林及びヒノキ林に対する斜面の土砂移動量調査に取り組みたいと考えています。課題研究に費やせる期間はおおよそ1年で、研究課題は最後の山場である卒業論文へと繋がっています。先生や先輩方のアドバイスを聞き、気を抜かずに取り組みたいと思っています。そして、少しでも林業に役立つような結果を出し、先輩方のように分かりやすくまとめることが今の目標です。

職員からの贈る言葉

一緒に過ごした2年間



農と食のビジネスコース
原澤 明子

ご卒業おめでとうございます。
社会に出る直前の2年間という皆さんの貴重な時間に立ち会い、一緒に過ごせたことを、とても誇らしく思っています。コロナで入校が延期…また延期と、まだ見ぬ皆さんにドキドキしながら何度も電話連絡。声を聞きながらどんな学生さんなのかな…?入校式で顔を見てホッとしたことも、今となっては懐かしい思い出です。
入校が遅れて学校生活が短くなってしまい、「損した気分!」そんな言葉が何度も聞こえました。本当にそうでしたよね。そんな中でも、たくさんの経験と出会いがあったのではないのでしょうか。
この学校で得た経験と友人は、これから始まる社会生活の中で何か困難があった時、きっとどこかで心の支えになってくれるはず。皆さんなら大丈夫。さらなる活躍を心から期待しています。

ここで培った仲間とのつながりを大切に



野菜コース長
猿谷 岳志

ご卒業おめでとうございます。新たな世界に羽ばたく皆さんの御活躍を祈念します。
皆さんは、本校での学習を通じて多くの仲間ができたことと思います。ぜひ、その仲間とのつながりを卒業後も大切にしてほしいです。卒業生の多くが農林業に関する分野に進むと思います。農林業の世界は広いようでいて、人とのつながりは意外と狭いということもあります。つてを頼って仕事が進むという場面も多々あるかと思いますが、一緒に学んだ仲間のことを思い出し、仲間の力を借りてほしいです。仲間がいることは皆さんの財産です。
私も農業分野で仕事をする者の一人です。いずれ、どこかで皆さんと仕事をする機会があると思います。そのときには、一回りも二回りも成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

自治会役員の紹介



今年度は、新型コロナウイルスが終息したかと思えば、再び感染が拡大してしまうそんな大変な年でした。今は、どうなるかわかりませんが、学校行事やより良い学校づくりのために自治会役員一同、全力を尽くしていきます。

令和3年度自治会役員

会 長：吉田健人（酪農肉牛コース）
副会長：齋藤果菜恵（野菜コース）
副会長：平山綾乃（花き・果樹コース）
副会長：原澤里音（農と食のビジネスコース）
副会長：町田蒼哉（森林コース）
会 計：吉田宗泰（野菜コース）
会 計：井上裕人（森林コース）
書 記：清水颯穂（酪農肉牛コース）
書 記：霜田美波（農と食のビジネスコース）

関東ブロックや全国大会で入賞しました！

「関東ブロック農業大学校等実績発表会」及び「全国農業大学校プロジェクト発表会・意見発表会」「関東森林管理局 森林・林業技術等交流発表会」において、本校の代表として発表・入賞しました!!
なお、今年度は、新型コロナウイルス対策としてオンラインでの発表となりました。

●「関東ブロック農業大学校等実績発表会」で発表した方



(写真左から)
林 美砂希 酪農肉牛コース2年
中島 麗奈 花き・果樹コース2年
秋山 幸希 野菜コース2年
比留間瑠海 酪農肉牛コース1年

●「全国農業大学校プロジェクト発表会・意見発表会」で入賞した方

中島麗奈さんが関東ブロックの代表として全国大会に出場し、優良賞（全国農業大学校協議会長賞）を受賞しました。

●「関東森林管理局 森林・林業技術等交流発表会」で入賞した方

東知樹さん（森林コース2年）が発表し、森林管理署や県研究機関等が発表する中、優秀賞（森林技術部門）を受賞しました。

研修部

ぐんま農業実践学校

農林大学校研修部では、群馬県内で就農を志す方を対象に「ぐんま農業実践学校」を開校しています。様々なニーズに合わせた課程・コースがあり、実習を中心とした研修を通じて、農業経営に必要な知識と作物の栽培技術を学びます。

令和3年度は、前年度に新型コロナウイルス感染症対策の観点から、開催を延期されていた春夏野菜（平日・日曜）コース、露地ナスコースおよび秋冬ネギコースの研修予定者を繰越で迎え、延べ127名の方が入校しました。

開校した課程・コースでは20代から70代までの幅広い年代の研修生が知識や技術を学び、農業という縁で出会えたかけがえない仲間たちと実践的なカリキュラムの中で夢を語りあい、新たな農業の担い手を目指しました。

修了者の皆さんが、各地域の担い手として本県農業の活性化に向け、活躍されることを期待します。



令和3年度「ぐんま農業実践学校」修了者

課程・コース		修了者数
野菜専門技術課程		19名
野菜基礎技術課程	春夏野菜平日コース	22名
	春夏野菜日曜コース	18名
	秋冬野菜平日コース	22名
	秋冬野菜日曜コース	20名
推進品目課程	露地ナスコース	4名
	秋冬ネギコース	5名
トラクター操作講座		10名
農業体験講座		5名
計		125名

研修生の言葉



ぐんま農業実践学校
野菜専門技術課程
新井 寿

『群馬県内で本格的に農業を志す方を対象に開校しています。』農林大学校ホームページにある、その言葉に目が留まりました。福祉事業を営み、これから「福祉と農業を連携させたい」と考えていた私にとっては、「千載一遇の機会」でした。「入校を切望しています！今年度入校できなければ、また何度でも応募します！どうせなら今年度で入校させてください！」と面接で声を大にして切望したのがよかったのか…。何とか実践学校の入校が叶いました。

新型コロナウイルスとの長い闘いを皆が強いられる中でも、農業全般の知識、作物栽培に必要な知識、農業経営に必要な知識や技術等を学びながら、これからの群馬県の食を支えたいという志高い仲間もたくさんできました。お互いの知識や経験、それぞれの目指す将来を語ることで連帯感が生まれ、人との繋がりの大切さ「大人になってこそ実感できる本当に貴重な時間」を過ごすことができました。先生方には、くだらないと思うようなことや、小さな疑問であっても、いつでも答えてくれるその懐の広さに甘えながらも、「新規就農者なのだから解らなくて当たり前」と丁寧に教えていただいたこと、本当に感謝しております。就農準備校20年間の修了生の一員として、令和3年度修了生である私達も、ここで学んだことをいかし「今後の群馬県農業を支える就農者」として尽力していきます。

農業機械研修

本校では、農作業機械に関する研修の一つとして、農林大学校生を対象に大型特殊免許（農耕車に限る）取得のための「大型トラクター基礎研修」を実施しています。研修は、校内に設置されている運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作と安全な道路走行を学び、研修最終日に実施される運転免許試験に合格すると免許取得となります。また、研修カリキュラムには、トラクターにおける作業機の脱着・調整およびロータリー耕等の実践的な内容も取り入れています。令和3年度も多くの学生が本研修を修了し、運転免許の取得とトラクター作業機の基本操作を学びました。この他、けん引免許（農耕車に限る）を取得する「大型トラクターけん引研修」や農業機械の安全利用を学ぶ「小型農業機械研修」といった様々な研修を実施しています。学生たちは、各研修を通じて免許や資格の取得、農作業機械の安全な取扱いを学習しています。



令和3年度大型トラクター研修（農林大学校生、実践学校生のみ）実績

研 修 名	実施回数 (回)	延べ受講 者数 (人)	延べ免許 取得者数 (人)
大型トラクター基礎研修	6	76	76
大型トラクターけん引研修	2	14	14